

大遊びせん七十の初御空

藤田湘子

元旦の空を見上げ、晴れ晴れと大きく息を吸い、七十歳だ、大いに遊ぼうではないか、と思つた作者の息遣いが伝わつてきて心地いい。

杜甫の詩中の句「人生七十古来稀なり」から古希と呼ばれる七十歳。昔は七十と聞けばおじいさん、おばあさんの感じがしたが、今はその感も少ない。

平成八年一月湘子は七十歳。四月号は「第二次鷹」出発号。創刊三十周年を過ぎ、結社も会員もリフレッシュして再出発を図つた。「二物衝撃」や新しい核としての「五人会（小句会）」を提唱し、発行所の移転等、仕事の上でも人生の上でも「大遊びせん」と意気軒昂であつた。「鷹」内外で精力的に仕事をこなしている。

1997年(69作)第十句集『神楽』 鑑賞・野本京